

令和4年度 授業計画 (シラバス)

科目名	精神看護学概論 I	科目区分	専門分野	授業の方法	講義
対象学年	2 学年	単位 (時間)	1 (30)	開講時期	2 年後期
<b>担当教員：</b> 専任教員 <span style="float: right;"><b>実務経験のある教員による授業</b> <input checked="" type="checkbox"/></span> 臨床・看護教員として実務経験のある教員が、その経験を活かし実践的な事例を含めた講義を行っている。					
<b>《科目目標》</b> 学習目的：精神看護の基本となる人間理解を目的として、人格の発達過程、人の心理・行動特性を理解し、健康な生き方とは何かについて考える。 学習目標：心の健康とは何かを理解し、心の発達過程について説明できる。心の健康に影響を及ぼす要因と対処法について説明できる。現代家族の特徴、核家族の機能と役割について説明できる。					
<b>《成績評価の方法》</b> 筆記試験					
<b>《使用教材 (教科書) 及び参考図書》</b> ① ナーシング・グラフィカ 精神看護学① 情緒発達と精神看護の基本 メデイカ出版 ② ナーシング・グラフィカ 精神看護学② 精神障害と看護の実践 メデイカ出版					
<b>《授業外における学習方法》</b> DVD を各自視聴するなどし、イメージをつけながら講義に臨めるようにする					
<b>《履修に当たっての留意点》</b> 講義で伝えた内容を学生が理解できているか、確認しながら進める 精神科看護とは何かを考え、自分の言葉で人に伝えられるよう、GWなどを取り入れる					
回数	時間数	内 容			教授方法
1	2	1. 精神障害についての基本的な考え方			講義
2	2				講義・演習
3	2	2. 人間のこころと行動			講義
4	2	3. 人格の発達と情緒体験			講義・演習
5	2	4. 人生各期の発達課題 ライフサイクルとメンタルヘルス 胎児期から老年期			講義
6	2				講義
7	2				講義・演習
8	2				講義・演習
9	2	5. 現代社会とこころ 1) 現代社会の特徴			講義
10	2				2) 現代社会とこころの問題 3) 現代社会の親と子ども
11	2	6. ストレスに対する身体的反応一心身症 事例から関りを考える			講義
12	2				講義・演習
13	2	7. 家族とその支援 事例から関りを考える			講義
14	2				講義・演習
15	2	8. 精神保健医療福祉をめぐる法律			講義

令和4年度 授業計画（シラバス）

科目名	精神看護学概論Ⅱ	科目区分	専門分野	授業の方法	講義・演習
対象学年	2 学年	単位(時間)	1 (30)	開講時期	2 年後期
担当教員： 専任教員 <span style="float:right">実務経験のある教員による授業 <input checked="" type="checkbox"/></span> 病院勤務経験のある教員が担当している。					
≪科目目標≫ 学習目的：精神看護の対象を理解し、患者－看護師関係について学ぶ。また、現代社会の中で起きてくる心の健康問題および精神保健制度について理解する。 学習目標：1. 精神看護における患者－看護師関係について理解する。 2. 社会環境の変化と心の健康問題について理解する。 3. 精神医療・看護の歴史の変遷について理解する。 4. 今日の精神保健制度と今後の課題について理解する。					
≪成績評価の方法≫ 筆記試験					
≪使用教材（教科書）及び参考図書≫ ① ナーシンググラフィカ 精神看護学① 情緒発達と精神看護の基本 メディカ出版 ② ナーシンググラフィカ 精神看護学② 精神障害と看護の実践 メディカ出版 ③ パーフェクト臨床実習ガイド 精神看護, 照林社 ④ はじめての精神科看護 メディカ出版					
≪授業外における学習方法≫ グループワーク					
≪履修に当たっての留意点≫ 対象の生きにくさを対象の立場に立った視点で考えていくことの大切さを知ってほしい。					
回数	時間数	内 容			教授方法
1	2	現代社会とこころの問題			講義
2	2	精神障害についての考え方・精神看護における対象の理解			演習
3	2	精神科看護におけるケアの方法・生きにくさの理解			講義
4	2	精神科看護におけるコミュニケーション・対人関係の持ちにくさ			講義
5	2	・看護師に求められるコミュニケーション技術			講義
6	2	・「共感する」ということ			講義
7	2	患者－看護師関係のアセスメント・プロセスレコードの活用			講義
8	2	・プロセスレコードの展開			演習
9	2	看護師のストレスマネジメント			講義
10	2	精神医療の歴史と看護			講義
11	2	精神保健医療に関わる法制度の変遷			講義
12	2	精神保健福祉法の理解			講義
13	2	障害者総合支援法の理解と実際および訪問看護の役割			講義
14	2	・社会資源の活用			演習
15	2	精神科リハビリテーションと地域生活を支える援助			講義

令和4年度 授業計画 (シラバス)

科目名	精神看護の方法 I (疾患)	科目区分	専門分野	授業の方法	講義
対象学年	2 学年	単位 (時間)	1 (8/30)	開講時期	2 年前期
担当教員： 非常勤講師					
<<科目目標>> 精神が障害された人を理解するための基礎的知識として、障害の分類と精神障害の病態・検査・治療について学ぶ					
<<成績評価の方法>> 筆記試験					
<<使用教材 (教科書) 及び参考図書>> ① ナーシング・グラフィカ 精神看護学② 精神障害と看護の実践 メデイカ出版					
<<授業外における学習方法>>					
<<履修に当たっての留意点>>					
回数	時間数	内 容			教授方法
1	2	認知症、せん妄、てんかん			講義
2	2	統合失調症			講義
3	2	うつ病、躁鬱病、その他の気分障害			講義
4	2	依存、パーソナリティ障害、神経性無食欲症、発達障害、PTSD			講義

令和4年度 授業計画（シラバス）

科目名	精神看護の方法Ⅰ（看護）	科目区分	専門分野	授業の方法	講義
対象学年	2学年	単位(時間)	1 (22/30)	開講時期	2年後期
<p>担当教員： 専任教員 <span style="float:right">実務経験のある教員による授業 <input checked="" type="checkbox"/></span></p> <p>臨床・看護教員として実務経験のある教員が、その経験を活かし実践的な事例を含めた講義を行っている。</p>					
<p>《科目目標》</p> <p>学習目的：精神科の看護領域で見られる精神病状態像にある人への看護について理解する</p> <p>学習目標：精神が障害された人を理解するための基礎知識を身に付ける</p> <p style="text-align:center">精神障害を持つ人への身体ケアについて学ぶ</p>					
<p>《成績評価の方法》</p> <p>筆記試験</p>					
<p>《使用教材（教科書）及び参考図書》</p> <p>① ナーシング・グラフィカ 精神看護学① 情緒発達と精神看護の基本 メディカ出版</p> <p>② ナーシング・グラフィカ 精神看護学② 精神障害と看護の実践 メディカ出版</p> <p>③ パーフェクト臨床実習ガイド精神看護 照林社</p> <p>④ はじめての精神科看護 メディカ出版</p>					
<p>《授業外における学習方法》</p> <p>DVDを各自視聴するなどし、イメージをつけて講義に臨むことができる</p>					
<p>《履修に当たっての留意点》</p> <p>対象について何故そう考えるのかと学生が考え、考えを共有できるように、グループワークや発表の機会を作る</p>					
回数	時間数	内 容			教授方法
1	2	1. 精神障害を持つ人への主な治療と看護			講義
2	2	1) 薬物療法 2) 精神療法 3) リハビリテーション			講義
3	2	2. 精神科看護におけるケアの方法			講義
4	2				講義
5	2	3. 入院環境と治療的アプローチ			講義
6	2	4. 精神科看護におけるリスクマネジメント			講義
7	2	5. ストレスマネジメントと精神科における看護師の役割			講義
8	2	6. 精神科看護の領域でみられる状態と看護 1) 抑うつ障害と双極性障害 2) 統合失調症 3) 不安障害・迫性障害 4) 依存・パーソナリティ障害			講義
9	2	6. 精神科看護の領域でみられる状態と看護			講義・GW
10	2				講義・GW
11	2	6. 精神科看護の領域でみられる状態と看護			講義・発表

令和4年度 授業計画（シラバス）

科目名	精神看護の方法Ⅱ	科目区分	専門分野	授業の方法	講義・演習
対象学年	3 学年	単位(時間)	1 (15)	開講時期	3 年前期
担当教員： 専任教員 <span style="float:right">実務経験のある教員による授業</span> <input checked="" type="checkbox"/> 病院勤務経験のある教員が担当している。					
≪科目目標≫ 学習目的：セルフケア理論を用いて精神障害者の生活する力をアセスメントし、看護を過程する方法を学ぶ。 学習目標：セルフケア理論を理解し、事例を通して紙面上での看護を展開する。					
≪成績評価の方法≫ グループワークによるレポート・筆記試験					
≪使用教材（教科書）及び参考図書≫ ① ナーシンググラフィカ 精神看護学① 情緒発達と精神看護の基本 メディカ出版 ② ナーシンググラフィカ 精神看護学② 精神障害と看護の実践 メディカ出版 ③ パーフェクト臨床実習ガイド 精神看護，照林社 ④ はじめての精神科看護，メディカ出版					
≪授業外における学習方法≫ グループワーク					
≪履修に当たっての留意点≫ 実習の実際の記録を使用して紙上事例を展開していきながら患者とのかかわりがイメージできるといい。					
回数	時間数	内 容			教授方法
1	2	1. セルフケア理論－オレム・アンダーウッド理論			講義
2	2	2. 患者－看護師関係の理論			講義
3	2	3. セルフケア理論を用いた看護過程の展開方法			講義
4	2	4. 統合失調症の事例を用いた看護の展開 1) 情報収集（基本的条件づけの要因）			講義・演習
5	2	2) 精神状態の査定			講義・演習
6	2	3) アセスメント（普遍的セルフケア要件）			講義・演習
7	2	4) 看護の方向性から看護計画立案と全体像の把握			講義・演習
8	1	5. 患者とのコミュニケーションのポイント：DVD より			講義